

「2021年度春季研究発表大会」のお知らせ

更新：2021/1/23

第31回 国際P2M学会 研究発表大会 The 31st Congress of International P2M Association

「超 VUCA 時代の社会変革とプログラムマネジメント」

2021年度の国際P2M学会春季研究発表大会（開催校：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科）を、下記の要領にて開催いたします。

前回大会に引き続き、Web形式による開催となります。居住地や勤務地とは関係なく、参加可能であり、奮ってのご投稿、ご参加をお待ちしています。

大会テーマは、「超 VUCA 時代の社会変革とプログラムマネジメント」です。つきましては、会員の皆様の研究発表を募集いたします。発表ご希望の会員は、申し込み要領をご参照のうえ、期限までにお申し込みください。

1. 大会テーマ

「超 VUCA 時代の社会変革とプログラムマネジメント」

2. 開催日・形式

開催日：2021年4月18日（日）

開催校：慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科
〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1

開催形式：午前の部（研究発表） オンデマンド配信
午後の部（基調講演とパネルディスカッション） リアルタイム配信

※インターネットに接続可能なパソコンやタブレット PC、スマートフォン等からご参加いただけます。

発表方法や参加方法の詳細は、決定次第本学会のHP上に掲載します。

3. 開催団体に関する情報

主催：一般社団法人 国際P2M学会（※）

共催：慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科

会長：国際P2M学会会長 山本秀男

実行委員長：慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 当麻哲哉

実行副委員長：慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 白坂成功

※一般社団法人 国際P2M学会：国際P2M学会事務局 〒162-0801東京都新宿区山吹町358-5
アカデミーセンター（平日：10時～17時）TEL: 03-6824-9371/FAX:03-5227-8631

4. 大会趣旨

激動する現代社会が直面している問題の多くは、年々より複雑化し、その解決が困難になっています。少子高齢化、格差、教育、雇用、セキュリティ、防衛・外交、震災、地球温暖化、経済危機など、様々な課題が私たち人類の未来を脅かしていると言えます。とくに今、まさに私たちに襲い掛かっている新型コロナウイルス感染拡大の危機は、地域や国のレベルを超えて、全世界に影響を及ぼしています。これらの課題は、予測が難しい、あるいは予測不可能なことも多く、私たちはこうした不確実性の時代に生きていくといえるのではないのでしょうか。

VUCA（ブーカ）とは、Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字を取った言葉で、もともと米軍が 1990 年代に使用していた言葉ですが、今まさに、軍事レベルではなく、一般の私たちの社会そのものが、VUCA の時代に突入しているのだと言えます。とくに新型コロナウイルスのような、全く予測不可能な出来事が突然、かつ急激に世界中に大きな影響を及ぼす有様は、VUCA を超えた「超 VUCA 時代」にあります。

「超 VUCA 時代」にあっては、問題解決に向けた考え方、意思決定のあり方、実行の仕方に、これまでの常識や経験の範疇で行動しては全く歯が立ちません。それぞれの専門の領域を超えて、多様なものの見方や思考方法、相互の対話と理解が必須とされます。たとえば、コロナ禍において非常事態宣言（ロックダウン）すべきか、Go To トラベルなどで経済を回すのか、感染拡大防止と経済再生の相反する課題を同時に考えてバランスの取れた意思決定をしなければなりません。日本でのコロナ禍のスタートは、クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号でしたが、乗客を残すのか降ろすのか、船内の環境悪化と周辺地域の感染防止をどうバランスとすべきなのか、感染症専門家だけでは意思決定が正しくできなかつたわけです。

こうした時代で必要とされるのは、変化への柔軟性、不確実性への対処、多様な価値観の認知、全体の展望と一貫性説明の能力などであり、これらはまさに「プログラムマネジメント」の考え方そのものです。私たちは今、「プログラムマネジメント」が必要な時代にいると言っても過言ではないでしょう。本大会では、このあたりをテーマに、これからの社会にどのような貢献ができるのか、どのように貢献していくべきなのか、皆様とともに議論していきたいと思えます。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げております。

5. 大会スケジュール： ※ 都合により、変更される場合があります。

(1) 研究発表の部（オンデマンド配信） ※発表プログラムは暫定版を 3 月上旬までに、最終版を 4 月上旬以降に学会ホームページ上に掲載します。

4 月 18 日（日）～ 5 月 17 日（月）：発表予稿・動画・質問&コメント・回答の閲覧期間

4 月 18 日（日）～ 4 月 27 日（火）：発表者への質問&コメント受付期間

4 月 18 日（日）～ 5 月 2 日（日）：発表者から質問者への回答受付期間

(2) 講演の部（ライブ配信）

13:00 - 13:30 総会（学会員のみ）

13:30 - 13:40 休憩

13:40 - 14:00 開会挨拶 山本秀男 氏（国際 P2M 学会会長）

開催校挨拶 当麻哲哉 氏

（慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授）

14:00 - 14:50 基調講演 1「デジタル時代のアジャイル・ガバナンスのすすめ」

須賀千鶴 氏（世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター長）

14:50 - 15:40 基調講演 2「DX のドライバーは何なのか」

福田譲 氏（富士通株式会社執行役員常務兼 CIO 兼 CDXO 補佐）

15:40 - 16:00 休憩

16:00 - 17:45 パネルディスカッション「超 VUCA 時代の社会変革とプログラムマネジメント」

モデレータ：当麻哲哉 氏（慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授）

パネリスト（順不同）：

沼尻祐未 氏（経済産業省商務情報政策局情報経済課アーキテクチャ戦略企画室
室長補佐）

深堀 昂 氏（アバターイン株式会社代表取締役 CEO）

佐藤達男 氏（広島修道大学経済科学部教授）

白坂成功 氏（慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授）

17:45 - 17:50 閉会挨拶 亀山秀雄 氏（国際 P2M 学会副会長）

6. 研究発表大会参加費関連

◆ 大会参加費：今大会の参加費支払いは 全て事前振込みのみにて受け付けます。

下記学会の銀行口座宛にお振込下さい。（振込最終締切：2021 年 4 月 9 日（金））

4 月 10 日以降は、参加申込ならびに参加費振込の受付は致しません。

また、4 月 9 日迄に未振込の場合は、投稿論文を予稿集に掲載致しません。

	早期割引参加費 (3 月 31 日まで)	参加費 (4 月 1 日～4 月 9 日)
会員		
：正会員、法人会員に所属の方	8,000 円	9,000 円
：学生会員	2,000 円	3,000 円
非会員		
：社会人、社会人学生	10,000 円	11,000 円
：学生、大学院生	4,000 円	5,000 円

※予稿の筆頭著者（当日の発表者）は、国際 P2M 学会会員に限られます。当学会に未加入の方は、遅くとも 2021 年 3 月 15 日（月）までに入会手続きを済ませてください。新規入会には、上記参加費とは別に、正会員が 12,000 円（入会金 2,000 円、年会費 10,000 円。社会人学生を含みます）、学生会員が 6,000 円（入会金 1,000 円、年会費 5,000 円）、必要となります。

尚、入会費の振込み先は ホームページ及び入会申請フォームに記載の「ゆうちょ」口座です。大会参加費振込口座とは異なりますのでご注意ください。

入会手続きの詳細は、学会ホームページから、こちらをご覧ください

→ <http://www.iap2m.org/accept.html>

◆ 講演の部（ライブ配信 13:40～17:50）のみの参加費：学会員、非会員とも：3,000 円

◆ 大会参加費振込み先銀行口座：

三井住友銀行（銀行コード：0009）

飯田橋支店（店番号：888）

普通預金（口座番号：7098073）

口座名義（一般社団法人 国際 P2M 学会）

※大会参加申し込み Web 画面で「領収書 ●必要」を選択した方には、大会開催後、領収書（PDF）をメールで送付いたします。

◆ 留意事項

※ 振込済みの参加費は、不参加の場合でも返金できません。

7. 参加申し込み方法

◆ 参加申込期限：

論文投稿者 : 3月15日(月)迄に申込み登録を済ませてください。

大会参加のみの方: 参加費振込の最終締切4月9日(金)迄に申込登録を済ませてください。

◆ 研究発表大会参加申込みはこちらから(注. 発表者も、申込み登録が必要です)

http://www.iap2m.org/regist_taikai.html

◆ 参加登録に関する参考情報

ブラウザが Internet Explorer の場合、バージョンが新しいと無応答になる場合があります。

次の操作を参考にしてください。 <http://www.iap2m.org/pdf/ie201309.pdf>

8. 発表者への要旨と予稿の投稿、及び発表動画登録に関するご案内

◆ 要旨の投稿期限及び方法

投稿期限 : 2021年2月15日(月)24時(厳守)

投稿方法 : 要旨は、次の URL から、web 登録画面に従い入力して下さい。

http://www.iap2m.org/regist_smallcongress.html

査読選択 : 予稿論文の審査を希望される方は、査読希望「●有」を画面上で選択してください。
尚、採択後の論文の学会誌掲載料は 30,000 円です。

スライド形式のみの予稿も歓迎します。但し、その場合、査読は選択できません。

◆ 予稿の投稿期限及び方法

投稿期限 : 2021年3月15日(月)24時(厳守) ※締切後の投稿は一切受け付けられません。

投稿方法 : 要旨投稿時に登録されたメールアドレス宛に、後日、編集委員から「予稿投稿方法」に関するメールが届きます。それに従い、MS-Word および PDF 形式の予稿を投稿してください。

◆ 発表用動画と聴講者質問への回答入力の期限及び方法

動画入力期限: 2021年3月30日(火)24時(厳守) ※締切後の入力は一切受け付けられません。

質問回答期限: 聴講者からの質問(受付期間4月18日(土)~4月27日(火))に対する回答は、5月2日(日)24時まで、後日、編集委員から指定された URL に入力して下さい。

動画入力方法: 要旨投稿時に登録されたメールアドレス宛に、後日、編集委員から「動画入力方法」に関するメールが届きます。それに従い発表動画(※)を作成し、指定 URL に入力して下さい。 ※ パワーポイント(2010以降)で録音後、ビデオファイル(mp4形式、10~20分)作成。

引用文献・図表等は、著作権法第32条に基づき、発表者の責任で対応願います。

◆ 受付メール確認のお願い

要旨及び予稿投稿後各1週間以内に、編集委員より受付メールを登録アドレス宛に送信します。

なお「(at)iap2m.org ((at)を@に読みかえてください。)」のドメインから届くメールが、迷惑メールフォルダに入らないように設定してください。万が一、着信しなかった場合は、下記学会事務局宛にお問い合わせ下さい。

国際 P2M 学会事務局 http://www.iap2m.org/regist_p2moffice.html

◆ 査読希望者へ：

当学会では、予稿が査読論文として審査されます。

頁数 : 最大 20 ページ

論文形式 : 投稿規程を遵守してください。

論文投稿規程 : http://www.iap2m.org/pdf/IAP2MSubmissionGuideline_191220.pdf

書式サンプル : <http://www.iap2m.org/file/sample.doc>

補足 : 予稿に P2M との関連性と関連参考文献を明記願います。

当学会の過去の論文誌は、J-stage から閲覧できます（最新号は会員のみ閲覧可）。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/iappmjour/-char/ja>

論文執筆経験が浅い方は、次のリンクにある Youtube 「IAP2M チャンネル」にある P2M の基礎知識、事例による P2M の理解、論文の書き方に関する動画を視聴するほか、学術論文作成経験者から論文作成の指導を受けることをお勧めします。

<https://www.youtube.com/channel/UCeBCLQNhDeNpbaYVi7EfuA>

英文の要旨（または英文本文）は、可能な限り英文としての品質向上に努めて下さい。

◆ 発表奨励賞：各発表分野別に受賞者を選出し、5月中旬に学会ホームページ上に掲載し表彰します。

9. お問い合わせ先 : 国際 P2M 学会事務局 http://www.iap2m.org/regist_p2moffice.html